

**令和4年度 熊本県中学校総合体育大会 テニス競技
申し合わせ事項**

- 1 申込み後の選手変更は認めない。ただし団体戦に関しては、大会当日の朝に行われる監督会議までに所定の手続きをふみ専門部長に選手変更届が提出できた場合のみ選手変更を認める。
- 2 団体戦のオーダーは、各試合ごとに1枚作成し大会本部に提出する。本部での確認後、対戦相手校との交換用オーダーを受け取り、試合前に交換する。
- 3 選手の服装は以下のとおりである。

コマーシャルロゴは認めない。ただし、学校名を片袖(19.5平方cm以下)に刺繍することは認める。

【シャツ】

- (1) 男子のシャツについては、半袖のゲームシャツとする。
- (2) 女子のシャツについても、半袖のゲームシャツとする。(ワンピースは袖なし可)
- (3) 背中にゼッケンをつけること。直接ウェアに学校名・個人名等を記したものは着用できない。
- (4) 製造業者ロゴ(文字無しのロゴの場合77.5平方cm以下のものを各袖または脇の縫い目に可)
男子:前身頃または襟に39平方cm以下2つ、または前身頃と襟に39平方cm以下1つの場合は、後見頃に26平方cm以下1つ、袖には、39平方cm以下2つ。
女子:前身頃または襟に13平方cm以下2つ、または26平方cm以下1つ。袖には、26平方cm以下1つ。

【ショーツ・スカート・パンツ】

- (1) 13平方cm以下の製造業者ロゴ2つ、または26平方cm以下を前に1つ+後ろに1つ。

【ワンピース】

- (1) ウエストから上部はシャツ、下部はスカートとみなす。

【ソックス・シューズ】

- (1) ソックスは膝より下のものとする。製造業者ロゴの数に制限はない。ソックスの製造業者ロゴの大きさは13平方cm以下。

【ラケット】

- (1) フレームに製造業者ロゴ、大きさ、数に制限はない。ステンシルマークは不可。

【帽子・ヘッドバンド・リストバンド】

- (1) 男子:26平方cm以下1つ。女子:19.5平方cm以下1つ。

【バッグ・タオル】

- (1) 製造業者ロゴ、大きさと数に制限はない。

【アンダーウェア】

単色で長さの制限は無い。

4 監督・コーチの服装

襟付きスポーツウェア・テニスシューズを着用し、本部が用意したID カードを表示しておく。団体戦の場合、監督・コーチは挨拶に立ち会うこと。団体戦でのベンチコーチのみ、規定の範囲内で認められる。個人戦のベンチコーチは認めない。それ以外の外部からのコーチングは一切禁止する。電源を切らない移動式通信機器コート内持ち込みは禁止する。

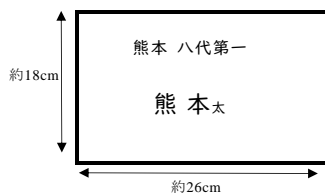
5 ゼッケンについては、次の通りとする。

【選手のゼッケン】

- (1) 背中のゼッケンの表記については、届け出たとおりの表記とし、文字は「漢字」または「仮名」を使用し、独自の『ひらがな』『ローマ字』などは使用しないこと。
- (2) 背中のゼッケンは、B5版大横(白地)(縦約18cm×横約26cm)の大きさのものに県名・校名と姓を書き、県名には「県」、校名には中学校の「中」の文字はつけないものとする。脱着に都合のよいようにホック(スナップ)等で留めることは許可する。
- (3) 背中のゼッケンをシャツそのもののヘブリントすることは認めない。
- (4) 背中のゼッケンの文字の位置は、下図例1のとおりとし、同一校に同姓の選手がいる場合には、名の1文字を付け加えること。
- (5) 中学校名が第一・第二中学校や東・西・南・北中学校のような場合、または同名の学校がある場合、学校名をわかりやすくするために、下図例1例2のように学校所在地を付記してもよい。

《例1》

熊本県 八代市立
第一中学校
熊本 太郎 選手

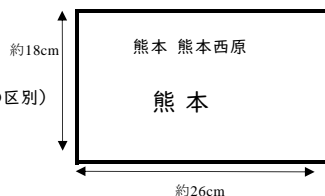


1/3 県名 中学校名
(※県・中は不要)

2/3 姓と名(1文字)

《例2》

熊 熊本県
熊本西原中学校
熊本 太郎 選手
(※西原村立西原中学校との区別)
↑
阿蘇西原



1/3 県名 中学校名
(※県・中は不要)

2/3 姓と名(1文字)

6 その他

- (1) 監督は、本大会要項および申し合わせ事項・競技上の注意・会場使用上の注意やマナー等について、その関係する生徒・保護者を含む大会参加者に周知徹底させるものとする。
- (2) 審判はソロチェアアンパイア方式で行う。
- (3) サングラスは原則として禁止する。医師の判断がある(診断書等提示すること)場合は、本部で協議のうえ許可する場合もある。
- (4) その他、天候等により変更が行われる場合は、本部で協議・決定し、各学校の監督を通じて選手に傳達する。
- (5) 屋外で行う場合、ソロチェアアンパイア、ベンチコーチ、観客において日傘の使用を認める。ただし、太陽光を反射するような生地の使用は認めない。
- (6) 各自、熱中症対策として日陰を作ることが出来る用意(テント等)をしておくこと。また、水を準備し、サイドチェンジ時のアイシングなど熱中症予防に努めること。